

10 「悩みを共有し、ともに生きる社会をつくろう」(人権全般)

実践する場面

- (1) 対象者 PTA会員等(小・中・高校生の子どもがいる保護者等)、
人権教育担当職員、行政職員、地域住民、社会教育施設職員等
- (2) 所要時間 90分

活動のねらい(ポイント)

- (1) 活動をとおして、自分が人権についてどのように捉えていたかをあらためて考えてみる。
- (2) 相談者になってみることで、人権を自分の問題として考え、いろいろな考え方や解決方法があることに気づく。

準備するもの

相談カード(5種類あるが、グループの人数に合わせる)、

進め方(展開例)

時間	学習の流れ(活動・内容)	留意事項	備考(資料)
導入 15分	<p>◆学習の確認(5分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修会のねらい ・日程 ・参加体験型学習における約束 <p>◆アイスブレイキング(10分)</p> <p>「自己紹介〇〇さんのとなりの〇〇です」 〇学習の内容を全体で確認する。</p> <p>①グループでジャンケンをし、勝った人から時計まわりに自己紹介をする。</p> <p>②次の人は、前の人の名前を言ってから自己紹介を行う。</p> <p>③次は反対回りで、好きなものをつけ加えて自己紹介を行う。</p> <p>④ふりかえりを行い、感想を発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・[参加体験型学習の約束]の内容を伝える。 →P. 4(5)の1参照 ・相談カードが5種類なので、5人のグループで行うのがよい。 	
		<p>活動例</p> <p>A：Aです。 B：Aさんの隣のBです。 C：Aさんの隣のBさんの隣のCです。 (最後の人までいったら反対回りに続ける)</p> <p>C：〇〇が好きなCです。 B：〇〇が好きなCさんの隣の△△が好きなBです。 A：〇〇が好きなCさんの隣の△△が好きなBさんの隣の□□が好きなAです。</p> <p>※途中でわからなくなったときは、教え合うようにする。</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> ・相手を知ることで親しみが生まれることに気づき、相互理解へのきっかけをつくる。 ・よりよいコミュニケーションのためには、自分のことを伝えるとともに、聞いているという安心感を相手に与えることが大切であると気づく。 		

時間	学習の流れ（活動・内容）	留意事項	備考（資料）
<p>展開 70分</p>	<p>◆アクティビティ（65分） 「みんなの相談室」</p> <p>①グループに配付された相談カードを1人1枚引いて、黙読する。</p> <p>②自分が引いたカードに書かれた相談内容を読み上げ、グループでアドバイスを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読む人は、友人から相談された人とする。 ・グループのアドバイスはメモしながら聞く。 <p>③同じカードを引いた人同士でグループをつくり、それぞれが受けたアドバイスをもちより、解決の方法を話し合う。</p> <p>④グループで出た意見を全体に発表し、共有する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・相談カードを配付する。 ・当事者の人権尊重を第一に考え、悩みや願いを受けとめて助言するよう促す。 ・1つの相談に対して、全員が話すように促す。 ・全員が相談できるよう、時間配分に気をつける。 ・グループで一つの答えを出すことは求めず、自分の考えが深まるよう促す。 ・地域の実状について、相談カードを自作し加えてもよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相談カード →P.65, 66
<p>・人権を自分の問題として考えたり、いろいろな考え方や解決方法があることに気づく。</p>			
	<p>◆ふりかえり（5分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最初のグループに戻り、アクティビティをとおして考えたこと、気づいたことを中心にふりかえる。 ・グループで出た意見を全体に発表し、共有する。 		
<ul style="list-style-type: none"> ・人権問題は、まずは知ること、そして気づくこと、そこから課題解決に向けて、前向きに取り組むことが大切であると感じる。 ・ふだんから相手の立場に立って、その人に必要なことやその人の考え、気持ちを想像し、共感的に理解するような人権感覚を身につけることの大切さに気づく。 			
<p>まとめ 5分</p>	<p>◆まとめ（5分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ファシリテーターの話を聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動のねらい（ポイント）をおさえる。 	

<参考資料など>

「構成的グループエンカウンター・ミニエクササイズ56選 小学校版」著者 八巻寛治 明治図書出版（平成13年5月）

悩み相談カード1

友人から相談されたのですが、その友人は地域の防災訓練の担当になり、他の担当者と次回の訓練の計画を立てているそうです。最近、地域に日本語のわからない外国人の家族が引っ越してきたのですが、その人たちに訓練の参加を呼びかけるかどうかで意見が分かれました。結局、声をかけないことになったのですが、友人は、それでよいのか悩んでいるそうです。どうしたらよいでしょうか。みなさんで考えていただけませんか。

メモ

悩み相談カード2

友人から相談されたのですが、その友人の娘さんは、幼いときから自分の性別に違和感をもっていました。体つきがだんだん女性的になることや、制服でスカートをはかなくてはならないことにも苦痛を感じていましたが、今までは、なんとか周りに合わせてきたそうです。来年、高校を卒業するのですが、就職が決まりほっとしていたところ、職場に女性用の制服があることが分かり、不安を感じているそうです。どうしたらよいでしょうか。みなさんで考えていただけませんか。

メモ

悩み相談カード3

友人から相談されたのですが、その友人のお父さんが 80 歳で、約1年前から物忘れが目立つようになってきたそうです。現在、その友人夫婦の近所で一人暮らしをしています。つい先日も、泣きながら「通帳をどこにしまったか分からなくなった」と電話があり、一緒に探したそうです。最初は、いぶん取りみだしていましたが、探しているうちにお父さんも気持ちが落ち着いてきたということです。心配なので同居も考えていましたが、お父さんは家族の思い出のある家を離れたくないと言っています。どうしたらよいでしょうか。みなさんで考えていただけませんか。

メモ

悩み相談カード4

友人から相談されたのですが、その友人は、車椅子を使って生活をしていて、最近困ったことがあるそうです。近所のスーパーに行くと、障害者用の駐車スペースにいつも車が停めてあるので、空くまで長時間待っているそうです。停めてある車には身体障害者マークもついておらず、車椅子などを使っている様子もありません。声をかけるのもちょっと怖いし、スーパーの店員に言うのにもためらいがあるそうです。どうしたらよいでしょうか。みなさんで考えていただけませんか。

メモ

悩み相談カード5

友人から相談されたのですが、その友人の13歳になるお子さんのことで悩みがあるそうです。インターネットの掲示板に「サッカーの試合で、初めてゴールを決めた。やった！」と書き込んだところ、翌日、

名前:名無し

よかったね。でもちょっと自慢ぽくない？

名前:T-Chan

いいよな。僕は出られなかった！

名前:社長

一人で試合に勝ったと思っている？なんか、うざい。

というような書きこみがあったそうです。本人は気にしないと言っていますが、親としては大変心配しているそうです。どうしたらよいでしょうか。みなさんで考えていただけませんか。

メモ